

## シラバス

## 教科【 国語 】 科目【 論理国語 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
国語	論理国語	4	3	普通	選択	新編論理国語(大修館書店)

## 1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

## 2 学習評価規準

知識・技能	実社会に必要な国語の知識を身に付けようとしている。
思考・判断・表現	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

## 3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	論理と出会う	「論理的な人」とはどういう人か	
	具象と抽象	ウサギの耳はなぜ長い？	
	言語活動	「生活体験発表」の作文を書く	
	対比をとらえる	対話の精神	
	統計資料を活用する	若者の「海外旅行離れ」は本当か？	
後期	比べて読む	紙の本はなくなるらない	
	自己を見つめて	補助線を引きながら考える	
	思考を深める	和の思想、間の文化	
	社会に向かって	志望理由書・自己推薦書を書く	
	言語活動	文章を読んで書く	

## 4 学習の留意点

・評価は、授業に取り組む真摯な態度を重視します。  
 ・授業に真剣に取り組む、さまざまなものの見方、考え方、感じ方を学び、偏らない視点で主体的に物事をとらえることのできる判断力、幅広い人間性を培いましょう。

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
地理歴史	地理総合	2	3	普通科、 機械科、電気科	必修	高等学校 新地理総合 (帝国書院)

### 1 目標

地理に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野に、様々な課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

### 2 評価の観点

知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想し、考察、構想したことを効果的に説明したり、議論したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行い、地理に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野に、様々な課題を主体的に追究、解決しようとしている。また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などが深まっている。

	学習項目	学習内容	備考
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・球面上の世界と地域構成</li> <li>・結びつく現代社会</li> <li>・世界の人口問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面化された地図上での世界認識に慣れているため、現実の球面上での地域構成に気付かせる。また、図法の学習をする。</li> <li>・交通の発達により時間距離が短縮したことに気付かせ、時差の学習によって世界観を定着させたい。</li> <li>・国家間の結びつきを通して、国家・国境・領土問題・民族問題を学習する。</li> <li>・人口問題を学習し、様々な地域の人口問題を理解し、人口の移動の様子や理由を学習する。</li> </ul>	
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全世界の結びつき</li> <li>・諸地域の生活と環境</li> <li>・地形環境と文化</li> <li>・世界の中の日本</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な国家的な結びつきや民間の結びつきを学習する。</li> <li>・世界の気候を通して、諸地域の生活と環境を学習する。</li> <li>・世界舞台としての地形環境を学習し、人々に与える影響を学習する。</li> <li>・世界の中での日本の役割を理解し、社会に出た後に実践できるように学習する。</li> </ul>	

### 4 学習の留意点

ノート、ワークシート、課題、レポートなど学習への取り組み、小テスト、単元テスト、前期中間考査、前期期末考査、後期中間考査、学年末考査を基に総合的に評価する。

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
地理歴史	世界史探究	4	3	普通科	選択	詳説 世界史 (山川出版社)

1 目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を形成することを目指す。

2 評価の観点

知識・技能	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	学習項目	学習内容	備考
前期	第1部 文明と地域世界の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人類の起源や文明が成立していく過程について考察する。</li> <li>・国家が成立した背景について学び、国家の役割について考察する。</li> </ul>	
	第2部 諸地域世界の交流と再編	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代帝国が相次いで崩壊した後、新しい理念に基づく国家と社会が形成され、近代へと続く多様な文明が生み出された。このような歴史の変動と地域間の交流が一段と緊密になっていくことの意義について考察する。</li> </ul>	
後期	第3部 諸地域世界の結合と変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・16世紀に始まった世界の一体化が、その後、広さと深さを増しつつ、今日のグローバル化へとつながっていることについて考察させる。</li> </ul>	
	第4部 地球世界の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19世紀末の帝国主義の時代から、私たちが生きている現在を含む現代の歴史について考察し、自分も、そこに生きているという立場と視点から、その歴史や動向に向かい合う態度を培う。</li> </ul>	

4 学習の留意点

ノート、ワークシート、課題、レポートなど学習への取り組み、小テスト、単元テスト、前期中間考査、前期期末考査、後期中間考査、学年末考査を基に総合的に評価する。

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
公民	倫理	2	3	普通科	選択	高等学校 新倫理 (清水書院)

1 目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 評価の観点

知識・技能	古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え考察し、より深く思索し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
思考・判断・表現	現実社会の倫理的諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる倫理に関する概念や理論を活用して、理論的に思考し、多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、自立した人間として、他者と共により良く生きる自己の生き方について、より深く思索し、構想したことを議論する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	より良い社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方についての自覚や、人間としての在り方・生き方に関わる事象や課題について主体的に追求したり、他者と共により良く生きることの大切さについての自覚などを深める。

3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	第1章 青年期の課題と自己形成	・生きることの意味について、いろいろな視点から考え、今後の自分の生き方に活かす知識として身につける。	
	第2章 人間としての自覚	・古代ギリシャの思想やキリスト教やイスラム教や仏教や古代中国の思想を基にして、人間の生き方について考察する。	
	第3章 国際社会に生きる日本人としての自覚	・日本の風土と関連づけながら、日本人の精神的特性について考察する。	
後期	第4章 現代に生きる人間の倫理	・人間の尊厳に関わる思想家の思索を通して、人間の尊厳を自覚することの意義について考察する。	
	第5章 現代の諸課題と倫理	・現代の諸課題と倫理について、探究した結果を文章にまとめたり、お互いに意見交換したりして、適切に表現しながら、問題解決の方法について、考察する。	

4 学習の留意点

ノート、ワークシート、課題、レポートなど学習への取り組み、小テスト、単元テスト、前期中間考査、前期期末考査、後期中間考査、学年末考査を基に総合的に評価する。

## 令和8年度 シラバス 教科【 数学 】科目【 数学B 】

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
数学	数学B	3	3	普通	選択	新 高校の数学B(数研出版)

### 1 目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

### 2 評価の観点

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。</li> <li>・数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察する力を身に付けている。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしていたりしている。</li> <li>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>

### 3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	数列	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数列とその和</li> <li>・漸化式と数学的帰納法</li> </ul>	
後期	数学と社会生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの量の推定</li> <li>・自転車シェアリング</li> <li>・電気料金と省エネルギー</li> <li>・平均気温と地球温暖化</li> <li>・標高と気温の関係</li> <li>・自転車が止まるまでの距離</li> </ul>	
	統計的な推測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確率分布</li> </ul>	

### 4 学習の留意点

ノート、ワークシート、課題、レポートなど学習への取り組み、小テスト、単元テスト、前期中間考査、前期期末考査、後期中間考査、学年末考査を基に総合的に評価する。

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書(出版社)
体育	体育	2	3	全学科	必履修	現代高等保健体育(大修館)

### 1 目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

### 2 評価の観点

知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

### 3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	体づくり運動	● 体づくり運動(体ほぐしの運動 / 実生活に生かす運動の計画) ※ 新体力テストを含む	
	選択Ⅰ	● 選択Ⅰ(球技:バドミントン) ※ 球技(ネット型)	
	選択Ⅱ	● 選択Ⅱ(陸上) ※ 陸上(持久走)	
	体育理論	● 豊かなスポーツライフの設計 ①生涯スポーツの見方・考え方 ②ライフスタイルに応じたスポーツ	
後期	選択球技Ⅲ	● 選択Ⅲ(球技:ミニバレーボール) ※ 球技(ネット型)	
	選択球技Ⅳ	● 選択Ⅳ(球技:卓球・フットベースボール) ※ 球技(ネット型・ベース型)	
	体育理論	● 豊かなスポーツライフの設計 ③スポーツを推進する取り組み ④豊かなスポーツライフの創造	

### 4 学習の留意点

授業観察、ノート・ワークシート、課題レポート、小テスト、単元テスト、考査等を基に総合的に評価する。

## シラバス 教科【外国語】科目【英語コミュニケーション】

教科	科目	単位数	学年	コース	区分	使用教科書（出版社）
外国語	英語コミュニケーションⅡ	3	3	普通	必修	All Aboard! English Communication II（東京書籍）

## 1 学習目標

1. 日常的な話題について、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。
2. 日常的な話題について、英語で聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝えることができる。

## 2 学習評価基準

知識・技能	外国語の音声や語彙・表現・文法・言語の働きなどについて理解を深め、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に使用できる技能を身につけている。
思考・判断・表現	目的や場面、状況に応じて、日常的・社会的な話題について、外国語で概念や要点を理解できる。話し手や書き手の意図を理解でき、また適切に表現できる。
主体的に学習に取り組む態度	文化に対する理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

## 3 学習計画と学習内容

	学習項目	学習内容	備考
前期	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について学習する。 (to不定詞を含む表現)	
	Lesson 6 Seeds for Future Generations	グループ発表を通して、伝統の継続について考える。 (動詞の目的語になるif節)	
	Lesson 7 Over the Wall	世界の人々と交流する方法について学習する。 (関係副詞where, when)	
後期	Lesson 8 Inspiration from Nature	自然界のデザインをヒントに開発された製品について学習する。 (知覚動詞)	
	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate	カカオ農園の実態と児童労働およびその解決策について学習する。 (使役動詞)	
	Lesson 10 Fighting Angel	ナイチンゲールの生涯について学習する。 (分詞構文)	

## 4 学習の留意点

各考査の成績、ワークシートなどの提出物、発表、出席状況、授業への取り組みの姿勢や学習への意欲などを総合的に評価する。